

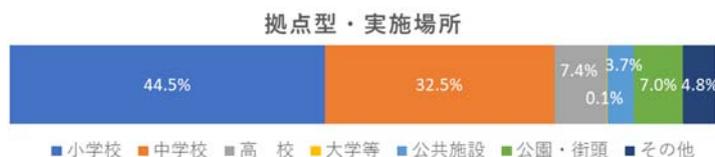
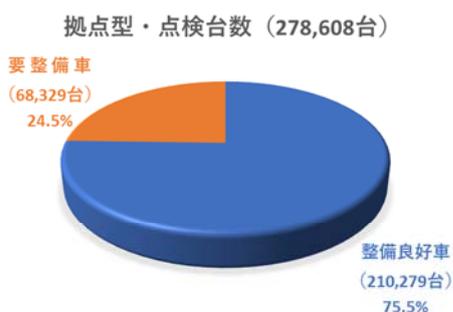
2019年度自転車安全点検全国普及活動事業報告

一般財団法人自転車産業振興協会

当協会は、自転車利用者に使用中の自転車の日常点検・整備の励行を促すために、日本自転車軽自動車商協同組合連合会及び傘下の各都道府県自転車商協同組合の協力を得て、学校や公共の場における「拠点型安全点検」、自転車小売店における「店舗型安全点検」、学校、都道府県警察、地方公共団体、自転車安全推進団体等と連携しての「安全点検講習会」を実施している。

【拠点型安全点検】

2019年度は、学校、都道府県警察、地方公共団体、自転車安全推進団体等からの要請を受け、計2,534会場で実施し、278,608台の自転車を点検した。



拠点型・総点検台数における要整備箇所の割合

箇所	割合
ブレーキ	6.8%
ペルプザ	4.4%
リフレクタ尾灯	1.5%
フレーム	0.5%
ハンドル	0.7%
ペダル	0.2%
車輪	5.0%
チェーン	4.7%
変速機	0.5%
ライト	2.4%
サドル	0.4%
錠	1.2%
その他	1.5%

【店舗型安全点検】

2019年度は1,391店舗で実施し、28,349台の自転車を点検した。店舗型安全点検は、調子の悪い自転車が持ち込まれることが多いため、要整備車の割合が高かった。



【安全点検講習会】

2019年度は、自転車の選び方や日常点検・整備の重要性、正しい自転車の乗り方等の講習会を436会場で開催し、40,861人の参加があった。

